

特定家畜伝染病から農場を守る研修会 (高病原性鳥インフルエンザ・口蹄疫・アフリカ豚熱・豚熱)

1 趣旨

近年、国内では高病原性鳥インフルエンザ、豚熱が頻発し、また近隣のアジアではアフリカ豚熱、口蹄疫などの重要な家畜伝染病が発生しており、ひとたび発生すると畜産経営に大きな影響を及ぼします。これらの疾病の侵入を防ぐためには、農場での日頃からの飼養衛生管理の徹底が何より重要です。

本研修会では、各疾病の特徴や最新の発生状況をはじめ、農場で実践できる防疫対策や異常を早期に発見した際の対応について理解を深め、自らの農場を疾病から守るための知識と防疫意識の向上を図ることを目的として開催します。

2 主催

長野県、全国農業協同組合連合会長野県本部、一般社団法人長野県獣医師会、
一般社団法人長野県畜産会

3 共催

長野県養鶏協会、長野県養豚協会、JA 長野県・信州肉牛生産販売協議会、JA 長野県養鶏部会協議会
JA 長野県・信州ポーク生産販売協議会、長野県ホルスタイン改良同志会

4 後援

オリオン機械株式会社 株式会社中嶋製作所

5 日時

令和8年 8月27日(木) 13:30 から 16:30 まで

6 場所

ホテル モンターニュ松本 (Zoom 併用)
〒390-0817 長野県松本市巾上 3-2
TEL. 0263-35-6480

7 参集範囲

家畜飼養者、畜産関係機関、獣医療関係者、(公社)中央畜産会・地方会員 JPPA 他

8 講演(13:30から15:00)

講師 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門
疫学・病態研究領域 疫学グループ長 山本 健久 氏

演題名

- (1) 高病原性鳥インフルエンザ・豚熱国内発生農場の実際
- (2) 海外における口蹄疫・アフリカ豚熱の発生状況とまん延防止対策

9 雑談会(15:15から16:15)

テーマ：特定家畜伝染病が野生獣に侵入した場合の防疫対策などなど

参加者：JASV 代表理事 伊藤 貢 氏
宮崎大学 農学部 獣医学科 教授 上村 涼子 氏
鹿児島大学共同獣医学部附属南九州畜産獣医学教育研究センター 特任講師 伊藤 聡 氏
会場出席者

10 その他

本研修会は、長野県の自衛防疫推進業務及び公益社団法人中央畜産会の家畜防疫・衛生指導対策事業並びに家畜衛生対策推進協議会(事務局：中央畜産会内)の野生獣衛生対策促進事業の一環として開催します。